

社会福祉法人 関西中央福祉会
平成リハビリテーション専門学校

第 9 回 学校関係者評価委員会 議事録

1. 開催日時 令和 7 年 1 0 月 3 0 日（木） 1 9 時 0 0 分～ 1 9 時 4 0 分

2. 会議出席者（敬称略）

樋笠 重和 （兵庫県理学療法士会 理事）

田山 大介 （西宮回生病院 作業療法士）

松本 憲作 （淀川平成病院 理学療法士）

池上 淳 （卒業生代表 同窓会会長）

金高 志津代（在校生 保護者代表）

（欠席）藤澤 昭信（平成記念病院 言語聴覚士）

3. 陪席者

藤本 陽子（副校長）

新島 剛 （理学療法学科 学科長）

七谷 倫子（作業療法学科 学科長）

青木 崇 （言語聴覚療法学科 学科長）

寺本 一平（事務長）

4. 会議の場所

兵庫県西宮市津門西口町 2－2 6 平成リハビリテーション専門学校内

Web 会議方式にて実施

5. 審議・議題事項

開催にあたり、各委員及び当校役職者の紹介を行う。

続いて今回の議長の推薦をはかったところ、議長を青木学科長、書記を寺本事務長に推薦することを決め議事審議に入る。

議案 1. 理学療法学科・作業療法学科における取得可能資格への取り組みの報告
スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

● 初級バラスポーツ指導員

- 対象：理学療法学科（2020 年より）・作業療法学科（2023 年より）1 年生
- 希望者のみ資格申請する

- 課題・取り組み
 - ◇ 申請希望者がいない（申請金額や更新作業に弊害があるためか）
 - ◇ 学生への促し、資格取得に興味を持つような工夫が必要
- 福祉住環境コーディネーター3級
 - 対象：理学療法学科・作業療法学科2年生 各学科とも2025年より開始
 - 資格試験：2025年7月20日：校内でオンラインにて受験
 - 今後の課題：就職に向けて学生のアピールとして実施した経緯があるため、オリエンテーションを十分に行うことが必要
- 委員よりのご意見・ご質問について
 - 福祉住環境コーディネーター3級にした理由はあるか
 - 療法士の資格取得後に2級を取得する人もいるので、学生時代に取得しておくといいのではと思っている
- 教員より回答
 - 2年生のカリキュラムから2級は難解であると判断し3級とした

議案2. 退学者数減少に向けての取り組み報告と今年度の取り組みについて
スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

- 2024年度の退学者軽減に向けての報告
- 結果として1年生の退学者数軽減につながった
- 2025年度状況
 - 前期
 - ◇ 今年度4月～7月に学習アプリを使用
 - ◇ 週末課題、夏休み課題、補講の実施
 - 後期
 - ◇ 週末課題：学習のまとめノート・資料作成
 - 結果
 - ◇ 前期退学者数は前年度同時期より減少
- 今後の課題
 - 学生の学力、勉強への取り組みへの意識
 - 留年者の軽減の取り組みも必要
 - 後期の取り組み状況をみて、今後の取り組み内容を検討していく
- 委員よりのご意見・ご質問について

- 退学者については自ら学校にきた人と親から勧められてきた人に大きく違いがあるように自身の学生時代に感じたので、入学のきっかけを教員側で把握してみてもどうかと思った。
- 国家試験過去問題のアプリについては使用されているか
- 基礎分野の科目が前期に多いのでそのまま辞めてしまうことが多いのではないか
- 見学実習まで進めばおもしろさを感じて、状況も変わるのではないか、それを知るまでに辞めてしまうことが多いのではないか
- 教員より回答
 - 国家試験過去問題のアプリは導入し、任意で利用している。利用状況は最終学年は9割以上、1・2年生は1割程度となっている。
 - 見学実習に行ってからモチベーションが上がる学生が見られる
- (その他 ご意見など)
 - 実習時、学生が投げやりになるときがある
 - 実習指導者から褒められた際は学生もモチベーションアップにつながる
 - 内定後の国試不合格について採用側にも問題がある。採用側もしっかり事前の見極めが必要

議長の進行に基づき、上記報告事項は全て了承され、審議事項（議案1～2）は原案どおり承認された

藤本副校長より次回委員会開催予定の説明と参加のお願いを行う。

以上をもって各審議・報告事項を終了する。